

●愛犬家の皆さまへ●

# 登録と狂犬病予防注射をお忘れなく

問合せ先 環境対策課環境保全係 ☎② 2 2 1 3



狂犬病はすべての哺乳類に感染することが知られており、人も例外ではありません。発症すれば有効な治療法もなく、ほぼ100%死亡してしまう恐ろしい病気です。全世界では、東南アジアを中心に今なお年間5万人以上が狂犬病で亡くなっており、現在、発生が確認されていない国は、日本やオーストラリアのような島国など、わずか10数か国しかありません。

日本では、狂犬病予防法により、生後91日以上の子犬について、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが、飼い主に義務づけられています。

市では、次の日程で登録と注射を行いますので、最寄りの会場へ犬を連れてお越しください。

## 犬の登録が済んでいる場合

予防注射のみ行います。愛犬手帳と案内のハガキを必ずご持参ください。

注射料金 3,320円

## 犬の登録をしていない場合

登録されていない方は、会場で登録の手続きをし、予防注射を受けてください。

登録料金 3,000円

注射料金 3,320円

※登録内容に変更が生じたときにも届け出が必要です。

詳しくは、環境対策課までご連絡ください。

## 犬の登録と狂犬病予防注射日程表

実施日	実施場所	時間
4月10日(水)	旧板戸公民館前	午前9時30分～午前9時50分
	原田区駐車場	午前10時10分～午前10時40分
	外浦区集会所	午前11時00分～午前11時20分
	柿崎公民館前	午後1時00分～午後1時30分
	須崎漁協前	午後1時50分～午後2時20分
4月11日(木)	蓮台寺公会堂前	午前9時30分～午前10時00分
	河内公会堂	午前10時15分～午前10時45分
	稲生沢公民館	午前11時00分～午前11時30分
	本郷公民館	午後1時00分～午後1時30分
	中(なか)公民館	午後1時40分～午後2時00分
	賀茂保健所	午後2時15分～午後2時45分
	田牛バス停横	午前9時30分～午前9時45分
4月12日(金)	朝日公民館	午前10時00分～午前10時40分
	大賀茂公会堂	午前11時00分～午前11時40分
	中央公民館	午後1時30分～午後2時30分
	落合1号橋リサイクルステーション	午前9時30分～午前9時45分
4月15日(月)	須原公民館	午前10時00分～午前10時20分
	基幹集落センター	午前10時35分～午前11時10分
	北湯ヶ野公民館	午前11時30分～午前11時50分
	横川・千代田屋前	午後1時40分～午後2時00分
	加増野バス停横	午後2時15分～午後2時30分
4月16日(火)	市民文化会館駐車場	午前9時30分～午前11時00分

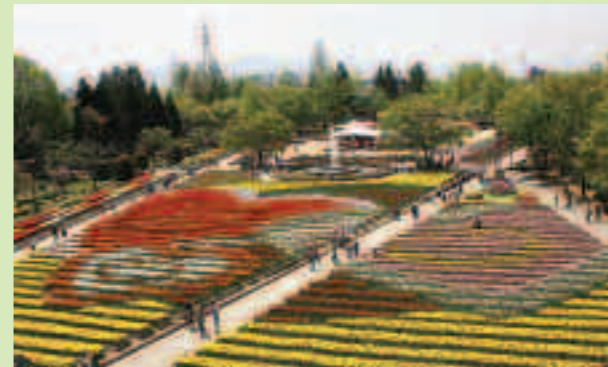
# 花と花でふれあうまちづくり フラワー都市交流連絡協議会



## 2013となみチューリップフェア ～心をつなぐ愛の花～

富山県生まれの新品種、オランダ生まれの新品種などを織り交ぜた、国内最多のチューリップをお楽しみください。

砺波市のご厚意により、先着50名に優待券(入場料半額)を観光交流課にて配布しております。



期間 4月23日(火)～5月6日(月)  
会場 砺波チューリップ公園  
料金 大人 1,000円 小人(小・中学生) 500円  
小学生未満 無料  
問合せ先 (公財)砺波市花と緑の財団  
☎0763-33-7716

## フラワー都市交流連絡協議会 砺波市総会参加者募集

下田市が加盟しているフラワー都市交流連絡協議会の総会が開催される富山県砺波市への1泊2日のツアーを企画しました。各都市間における相互交流の活性化を図るため、都市交流への市民の参加を募集します。



日程 4月26日(金)～4月27日(土) 1泊2日  
募集人員 15名程度  
負担金 45,000円(往復交通費、宿泊料を含む)  
締切り 3月15日(金)必着  
※参加資格は20歳以上とさせていただきます  
問合せ先 観光交流課 ☎③ 9 1 3

食旅の原点は「本場で食べる」ということです。本場というのは食材が収穫される土地、水揚げされる港、またはその調理法が始まった地域です。基本的には地域の食材が多用されます。食旅は多くの場合、地産地消につながっています。地域の観光業者と農業、漁業、酪農業、林業などが協調した地域一体となった旅行形態が求められています。体験する食旅は一次産業者の理解と協力がなくては成立しません。買う食旅も同様です。一次産業者が主体的に観光に関わるケースも出てきました。体験プログラムを用意した農家の経営する観光農園、地域食材を活かした料理を楽しむ農家・漁師直営の農林漁業レストラン、地域の生産者農家が複数軒集まって生産者自らが店先で観光客に販売する農産物直売所などです。



今日、「農商工連携」が各地で活発におこなわれています。農林漁業者と商工業者などが通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを生かして売れる新商品・新サービスの開発、生産等をおこなう、需要の開拓をおこなうもの、「1次×2次×3次」「6次産業化」です。自然や歴史文化遺産、街並み等どんな観光資源も必ず消耗します。保護、管理、進化させなければ観光地は持続しません。エコツーリズムの理念が必要です。食という観光資源は継続的、安定的に提供できるかという不安な部分があります。持続可能でなければ、観光資源と呼べません。食という観光資源を保護し、育成し、ブランド化すること、ブランド管理していくことが必要です。これらの時代背景、時代要請に添って、下田市では「観光まちづくり推進計画」を策定しています。「海づくり・里山づくり・まちなか活性」「官民一体、市民一丸、循環型経済」のスタートです。がんばりましょう！



## 広報しもだ12月号 平成24年度 静岡県広報コンクール 広報写真(1枚写真)部門 優秀賞を受賞

下田市指定民俗無形文化財に指定されている白浜奉納三番叟の翁の優美な舞を収めた広報しもだ12月号の表紙が静岡県広報コンクール優秀賞を受賞しました。

### 担当者の声

3年振りに披露された白浜奉納三番叟、早朝の凜とした空気に包まれながら、白浜の若者達の真剣な眼差し、指先まで神経の研ぎ澄まされた姿に大きな感動を覚えました。

その空気を少しでもこの写真で伝えることができたならこのうえない幸せです。

白浜のみなさま、誠にありがとうございました。